

環境政策論 問題【1】

本問題冊子にある他分野の問題から1問（○○ 問題【×】）を選択し、それに解答しなさい。なお、解答用紙の所定欄に選択した分野名と問題番号、受験番号を明記すること。

経済環境論 問題【1】

次の英文を、400字程度の日本語または200語程度の英語で要約しなさい。

著作権保護のため本文は割愛します。

著作権保護のため本文は割愛します。

出典: Rauno Sairinen, Regulatory reform and development of environmental taxation: the case of carbon taxation and ecological tax reform in Finland. In: Janet E Milne and Mikael Skou Andersen (eds), *Handbook of Research on Environmental Taxation*, Edward Elgar 2006, Ch.23, 422-438. (一部改変)

環境法政論 問題【1】

次の文章を400字程度の日本語で要約せよ。

【著作権保護のため本文は割愛】

【著作権保護のため本文は割愛】

【著作権保護のため本文は割愛】

出典

Emma Lees, *Contamination and the Polluter Pays Principle*, in IMPLEMENTING ENVIRONMENTAL LAW 118, 123-125 (Paul Martin & Amanda Kennedy eds. 2015).

出題に際して、原文を一部改変した。

注

polluter pays principle (PPP) 汚染者負担原則

Lee / Stevens / Larson / Pederson / Fisher / Dworkin いずれも人名

社会学 問題

1 以下の説明に対応する用語を日本語で答えなさい。

1-1

【著作権保護のため割愛】

1-2

【著作権保護のため割愛】

出典：Scott, John, 2014, *A Dictionary of Sociology*, Oxford University Press. (一部改変)

2 以下の文章を読んで、設問(1)～(4)に答えなさい。

【著作権保護のため割愛】

【著作権保護のため割愛】

出典: Koopmans, Ruud, et al., 2005, *Contested Citizenship: Immigration and Cultural Diversity in Europe*, University of Minnesota Press. (一部改変)

設問

- (1) 下線部a)を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部b)を日本語に訳しなさい。
- (3) 下線部c)のように主張される理由はどのようなものか、本文に即して説明しなさい。
- (4) 下線部d)のように主張されるのはなぜか、本文に即して説明しなさい。またここで xenophobic movementsと言われているものの実例を一つ挙げなさい。



地理学 問題【1】

次の(1)と(2)の両方に答えなさい。

(1) 次の文章を読み、下の(A)～(C)の問いに答えなさい。

著作権保護のため割愛します。

出典：Gabler, R.E. et al.: *Essentials of Physical Geography, Sixth Edition*, Saunders College Publishing, 1999 (一部改変)

(A) 下線部 (a) を日本語に訳しなさい。

(B) 下線部 (b) を日本語に訳しなさい。

(C) 下線部 (c) について、本文の内容を踏まえた上で説明しなさい。

(2) 次の文章を、日本語を用いて5～10行程度で要約しなさい。

著作権保護のため割愛します。

(次ページに続く)

著作権保護のため割愛します。

出典：Andrew Herod: *Scale*. Routledge, 2011, 3-4 (一部改変)